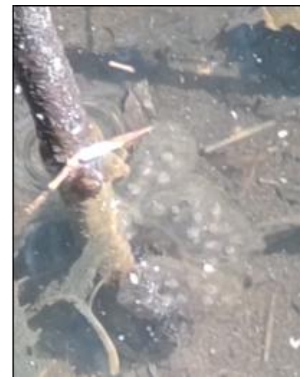


●ヤマトサンショウウオの卵嚢が確認される。

昨年は雨が降らずわずか 2 日ほどの降雨でしたが、3 月 13 日(水)と 18 日(火)にヤマトサンショウウオの卵嚢を確認出来、24 日に京都水族館に卵嚢を譲渡し幼体となった 93 匹と幼生 3 匹を現地に返しました。今年(2026 年)も昨年以上に雨が降らず産卵がされないのだろうと推測していました。2 月 28 日から弱い雨が続き、水たまりが出来て、3 月 7 日の朝にヤマトサンショウウオの卵嚢が 1 対確認されました。自然の大変厳しい変化の中で生き延びていてくれました。確認された金田、太田さんは幾度も調査観察に出かけていただきやっと生存が確認出来て大喜びでした。



●木津川希少種植生調査管理業務の完了検査が枚方の淀川河川事務所で開催。3 月 6 日(金)10:00 から

播川、森島、太田、山村が出席して検査官中山副所長が担当され、重定氏が担当官として立会をいただきました。里山の会から生育調査の実施状況写真(105 枚)や状作業の実施状況写真(140 枚)、そして貴重種生育分布図(13 部)、その他打合せ証明書類などを提出して、完了調査が終了しました。

●ニホンアカガエルの卵嚢 2 月 28 日(土)に 30 個ほどが確認されました。

京都府レッドデータブックには要注目種とされ「かつては普通に見られたが、近年著しく減少している」されていて、日本固有種とされている 鳥類の採餌防止対策を急がなければシラサギなどが毎年飛来しています。里山農園付近では農薬を使っているところが上流などに無く化学薬品の影響が比較的及んでいないため、ひと昔の環境が残されていることが証明されているのでしょうか。この環境を大切に守って行きたいものです。



◎農園部会だより 3 月 7 日(土) 16 号地のマルチ撤去などの作業を行いました。

里山展(京田辺市立中央図書館、3 月 3 日～8 日まで)も開催していて、農園には 4 人と少ないながらも参集してくれました。農園内の水たまり(湿地?)などを中心とした生き物探し、2 号地では草引きや牛糞を撒いて土づくりを行いました。また、16 号地に敷設されていたマルチの撤去も行いました。農園内の散策では、ニホンアカガエルの卵(4 号地)やウサギの糞(2 号地)、キクラゲ(1 号地近く)を見つけることができました。これから暖かくなるにつれて、多くの生き物が登場してきそうだなと思わせるような午前中でした。



5 号地で見つけた赤ガエルの卵



うさぎの糞(2 号地)



キクラゲ



マルチの撤去(16 号地)

●里山展 今年も地域説明会を京田辺市立中央図書館で行いました。 3月3日(火)～8日(日)

(1) (昭和29年5月13日第三種郵便物認可) 第21689号


## やましろ里山の会が結成30年

総合展 自然を大切にする仲間

あすまで  
NPO法人やましろ里山の会(京田辺市)として1996年に発足。  
甘南備山や防置川の植物調査をはじめ、核守(佐野藤右衛門さん)をゲストに招いた自然と環境(講演会、オオムラサキやナツフシ、シランソウ、カスミランショウウオなど)を発見・保護。

2002年、NPO法人の認可を受け、普賢寺小近くの里山農園で子供たちが自然と触れ合う機会を提供する。2007年まで木津川で見られたというイタセンパラ(板解腹)がいま一度棲める環境づくりへ竹蛇籠(中聖牛)を設置する取り組みも続けられる。展示では、さまざまな活動テーマ(紹介、中でも、活動目覚まし中学生の中沢洋斗くんや吉村開くん、のコムラサキやオオムラサキなどの蝶を追うフィールドワークの成果発表も輝きを放つ。

あす8日まで。午前10時～午後5時(最終3時まで)。入場無料。JR京田辺駅西口すぐ。【写真】「写真! 結成時のスローガン」をいま一度掲げる「やましろ里山の会(総合展)」




2026年03月03日 地域説明会 里山展 京田辺市中央図書館 キャラリー

**展示案内当番・来訪者署名数表**

	3	4	5	6	7	8
	火	水	木	金	土	日
10:00	大村	金田	大村	大村	森島	大村
↓	湯川	森			伊藤	湯川
12:00						
13:00	湯川	有田	金田	有田	大村	森島
↓	大村	大村	森			大村
18:00	伊藤					金田
↓	金田					
来訪者数	13	16	7	15	24	14

多くの市民の皆様のご理解や支援をいただけて数多くの成果を見ていただきました。洛タイ新報社が取材に来られて展示物の紹介記事を3月7日の表紙に大きな扱いでご紹介いただきました。結成30年を迎えた事や、中学生の調査観察活動での成果発表を評価いただきました。また入り口には芽を出したツクシやレンゲの花、菜の花が図書館に来られた皆さんを心暖かくお迎えしていたのではないのでしょうか。こうした場面を準備することは日ごろの活動の忙しさから難しいのですか、

多くのスタッフの皆さんが老骨に鞭打って各種のイベントを頑張って実行し、フレーム50枚近くの展示物が出来上がるのです。そして多くのスナップ写真の撮影がされているから記録とし活動発表が可能になるのです。期間中は湯川幸子さんから里山の会にご寄贈いただきました「雑草の詩」をご観覧頂きました。

●第30回里山講演会が開催されました。 3月7日(土)13:00～16:00 京田辺市中央公民館

講師は大阪公立大学 国際機関教育機構 客員研究員で「京の川の恵みを生かす会」代表の竹門康弘先生に「木津川を身近な川に」と題してお話をいただきました。

里山の会は植物への関心から発足して魚や昆虫などへ活動分野が広がり、両棲類などの生き物の分野に及んでいます。そして里山農園を拠点施設にして観察調査が行われ栽培農業・交流や親睦イベントでは身障者の参加を実現できています。本日の講演会は発足以来、毎年春秋に行い、それぞれ30回目になりました。ここで各講師から学び得た知識を活かして示唆していただいたヒントを実現していくことが講師への本当のお礼として生かしたので30年の継続の力になりました。先生の指導を受けながら取り組んだ竹蛇籠や中聖牛の役割から、人間の幸せや生きがいや満足感についてお話が深まりました。一般的に治水 利水 環境が川の役割とされていますが、川

第二十回 里山講演会

2026年3月7日

第30回 里山の会講演会

京田辺市中央公民館

**プログラム**

講演 ー 木津川を身近な川に ー

大阪公立大学 国際機関教育機構 客員研究員  
京の川の恵みを活かす会代表  
竹門 康弘

報告 ナガサキアグハの観察

シュタイナー学校 中学3年生 中沢洋斗  
生駒山に生息する「スミナガシとアオバセリ」の観察  
シュタイナー学校 中学3年生 吉村 開

主催 特定非営利活動法人 やましろ里山の会

この取り組みは京都府地域プロジェクトの交付金の支援を受けています

の恵みとした場合、春のノビルやセリ、カラシナや初夏の桑の実などは木津川にわんさと存在しているので、少しずつこれらを活用したイベントを取り組んではと話されました。テナガエビなども大変美味しいものとして紹介されました。参加者の皆さんから中学生の中沢君や吉村君の活動報告に新しい観点と行動力に驚き、期待と成長ぶりに大きな拍手が送られました。竹ノ脇池で魚釣り大会を実現した北野大輔君(2月に博士号を取得)が東近江市から久しぶりに来ていただきました。



6月10日頃の収穫を目指して

# ジャガイモの植え付け

この春最初の農作業 一緒に育てましょう



初心者歓迎

こども大歓迎

1家族 種芋5株を用意出来ました

植え付ける畑も準備できています

10軒分準備しています 先着順で受付



この取り組みは京都府交響プロジェクト交付金を頂いています

## 3月21日(土) 10:00~11:30

里山農園 京田辺市普賢寺水取菰谷

(府道沿い) 駐車場あり

普賢寺小学校から400m 南進

参加費 無料 しっかりした靴 作業衣

問合せ やましろ里山の会 0774-64-4183

メール [fddb257@yahoo.co.jp](mailto:fddb257@yahoo.co.jp) 氏名 住所 電話番号 メール

定員に満たない場合、現地で飛び入り参加も可能です



主催 自然を大切にする仲間の輪を大きくする NPO やましろ里山の会  
事務所 京田辺市田辺深田 15

## 植物観察に行きましょう 参加呼びかけ

山城地域では余り見る事が出来ない草花です。3月中旬に咲きます。ユキワリイチゲは、名前が示すように雪を割って咲く美しい早春の花とされている植物です。ユキワリイチゲには、春の訪れを告げる花として特別な意味「幸せになる」「希望」「再会」「新生」「勇気」「信頼」を持つ植物とされているのです。木津川沿川にはこの場所で見つけられませんでした。ぜひ一度見つけてみませんか。ミヤマカタバミなども見つかるかもしれません。

**集合** 10:10分      **解散 現地解散** 13:00 JR 大和路線：加茂駅

京田辺駅 10:22

乗車 出発

木津駅 10:39

乗り換え

木津駅

10:58

加茂駅

11:04

### 3月15日(日)

参加費 無料

ガイド **光田重幸先生**

お手伝い 伊藤千恵子さん 里山の会植物部会世話役

服装 しっかりした靴 ズボン 長袖 防寒対策 帽子 手袋

筆記具 カメラ 弁当 水筒 適なおやつ

参加方法 当日 JR 京田辺駅 10時ころに集合 各自加茂駅までの切符を購入すること

一日保険加入希望者は 里山の会へ申し込むこと 氏名 年齢 住所 金曜日 12:00 締め切



主催 NPO やましろ里山の会      事務所 京田辺市田辺深田 15      ☎ 0774-64-4183

メール fddb257@yahoo.co.jp